



夜間開館のお知らせ

毎週水曜日は、夜間開館日です。
夜8時まで開館しています。

今月の一冊

ありふれた家を建てる
榎野道流



「ありふれた家を建てる」
榎野 道流 著／U-NEXT

40歳を目前にし、家を建てる決意をした著者。目指すのは特別な家ではなく暮らしやすくありふれた家…のはずだったのに！自分の考える「普通の家」って本当に普通？『祖母姫、ロンドンへ行く！』の著者による入魂の家造りエッセイ。

アニマル号（移動図書館車）運行日程

10月28日	10:40～10:50 15:00～15:30 16:00～16:25 16:35～16:55	太陽簡易郵便局 新冠小学校 認定こども園ド・レ・ミ 町民センター前（児童館）
11月5日	10:05～10:20 11:20～11:35 12:00～12:15	新冠小学校 おうるの郷 子ども発達支援センター
11日	12:50～13:15 15:00～15:30 15:35～16:00	認定こども園ド・レ・ミ 新冠小学校 町民センター前（児童館）
25日	10:40～10:50 15:00～15:30 16:00～16:25 16:35～16:55	太陽簡易郵便局 新冠小学校 認定こども園ド・レ・ミ 町民センター前（児童館）

びっくり箱のおはなし会

定例読み聞かせ（毎月第4土曜日開催）

10月24日（土）10:30～、11月28日（土）10:30～

赤ちゃんの絵本の読み聞かせ（毎月第4水曜日開催）

10月28日（水）10:30～、11月25日（水）10:30～

主催 読み聞かせの会「びっくり箱」
場所 図書プラザ おはなしのへや

秋の読書週間事業

読書の秋となりました。今年も本事業において
下記のとおりイベントを開催します。

○開催期間 10月24日（土）～11月23日（月・祝）

○開催内容

・各種特別展示

「本でスポーツの秋」ほか

・リサイクル市

本、雑誌、DVD などたくさんご用意！

・大人1日司書

司書のお仕事を体験していただきます。

・ピタリを当てろ！本の重さ当てゲーム

借りた本の重さを当てたら景品がもらえます

●問い合わせ先 レ・コード館図書プラザ ☎0146・45・7777

新着ガイド

学校司書のお仕事

血肉となる読書

ひとことで整える

こわい日本史

日高への旅

同意なんかしていない

水産・海洋科高校

自分で改善できる！股関節痛

ヘンな道路標識

買わない生活

はじめての本格インドカレー教室

河鍋晩斎作品集

ハンカチ王子と呼ばれて

はじめての健康マージャン教室

あなたが正しくいられたとき

少女Aが消えたとき

犯罪前夜

底惚れ

水面の弔花

おひとしニア、1年生

大橋 崇行

安田 登

堤 藤成

本郷 和人

伊藤 健次

菊池 真理子

大岳 美帆

高岡 邦子

後藤 欣樹

稲垣 えみ子

香取 薫

河鍋 楠美

石田 雄太

川島 隆太

芦沢 央

伊兼 源太郎

吉川 英梨

青山 文平

アン・クリーヴス

岸本 葉子

みんなの広場

ぼくと
わたしの

夢

新冠小学校
6年生です



僕の将来の夢は、
科学関係の仕事か
先生になることで
す。そのために、
理科、算数を中心
に頑張ります。

長浜 優芯



将来の夢は自然関係
の写真を撮る写真家
になりたいです。だ
れでも心からきれい
だと思える写真を撮
りたいです。

長田 紡



私の将来の夢は、
イラストレーター
です。好きなこと
を仕事にしてかわ
い絵をたくさん
描きたいです。

中村 帆波



私の将来の夢は、
美容師さんです。
みんなが喜んでた
くさんの人を笑顔
にさせたいからで
す。

中村 莉杏



ふるさと探究 第26回 『プラウ（洋犁）の導入』

開拓使は北海道開拓を推進するため、明治4年（一八七二）に米国農務局長ホーレス・ケブロンを顧問として招聘しました。広大な土地と寒冷地に適した作物の麦・馬鈴薯（ジャガイモ）、玉蜀黍・豆類他や牧畜（牛馬）のために多くの農機具を導入します。特にプラウ（洋犁）は必需品として全道に普及させました。本州では牛馬利用の和犁ですが、主として水田利用でした。

プラウは1〜2頭の農耕馬で牽引しますが、馬匹の改良とともに大きさも多様化しました。新冠では明治10年代に導入され、耕運機やトラクターに交替



和犁



プラウ（洋犁）



プラウでの作業（昭和35年頃）
『緑丘開拓20周年記念誌』より

する昭和40年代まで使用されました。

写真は荒地用の新墾プラウです。鋼鉄の大きな撥土板が特徴で、練木の中央に鉋、先端部に定規車が付いています。

新冠御料牧場が解放された戦後開拓においてもプラウは重要な農機具であり、入植者は農耕馬とともに苦楽を共にしたのでした。

（乾 芳宏）

